

藤田議員の一般質問



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

コロナ5類移行の対応を問う

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

6月定例会での藤田議員の一般質問です。2日3番目に「新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う対応」「マイナンバーカードをめぐるトラブル、SNSの危険性」「近江長岡駅無人化について」の3点について一般質問を行いました。最後の一般質問になりました。詳しくは、最後に掲載しているQRコードで、山脇議員と藤田議員の一般質問の録画を是非ご覧ください。

問、ワクチン接種の対応は

答、令和3年1月より「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を設置し、市民のワクチン接種推進に取り組んできました。令和5年4月の組織改編により、同推進室は廃止しましたが、国の方針に基づく接種スケジュールに対応すべく、引き続き取り組んでいるところです。現在、重症化リスクの高い65歳以上の人などを対象とする「春接種」を実施中ですが、9月からは、5歳以上のすべての人が接種対象者となる「秋接種」が開始される予定です。市内連携体制を堅持しながら、これまで積み上げた経験を生かし、適時適切な人員配置を行い準備を進めていきます。

問、発熱等でインフルか新型コロナウイルスか検査を求められた場合の対応

答、本人や家族の意向に基づかない自己検査は、行わないと認識しています。国は検査キットを用いた自己検査も推奨していますが、重症化リスクが高い方や受診を希望される方には、必要な検査や治療を受けていただくことを併せて呼びかけています。なお、発熱などの症状がある場合、滋賀県の「有症状者向け検査キット配布センター」で、現在、抗原定性検査キットを配布しています。

問、集団感染が発生した場合の対応

答、重症化リスクの高い方が多く入院や入所される医療機関、高齢者施設、障がい者施設においては、当面、陽性者が発生した場合の周囲の方への検査や、感染拡大期等における従事者への集中的検査を行政検査として継続することとしています。秋以降、国の方針を踏まえた滋賀県の対応方針が改めて示されることもあり、本市としましても、感染状況の急速な悪化や医療の逼迫など、強い対応が必要な場合は、状況を注視しながら、その後の対策を検討していきたいと考えます。

問、外出自粛を求められたら

答、発熱などの症状がある場合の相談窓口については、県が設置する受診・相談センターが、毎日24時間、相談に応じる体制を継続しています。受診先については、県が外来対応医療機関として指定し、同意が得られた医療機関を公表しており、市内では13か所あります。

答、行政が外出自粛を要請することはなくなっています。自宅療養者の相談窓口については、引き続き、滋賀県が設置する「自宅療養者等支援センター」が24時間体制で稼働し、症状などに応じて受診案内を行うほか、入院などが必要な際には、同じく県が開設するコイントロールセンターを通じて、速やかな入院等の調整を行っています。パルスオキシメーターの貸出し、および食糧支援については終了しており、本市も実施していません。

問、発熱の場合の相談・診療方法は

問、学校での対応を問う

問、学校での対応を問う

答、学校での感染対策も変更しました。平時には、「換気の確保」と「手洗いの

問、小中学校での新型コロナウイルス感染症の対応について

次に、発熱などの症状がある場合の受診方法については、これまでと同様に、医療機関に受診前に電話などで相談し、感染予防を行った上で、医療機関が指定す

「換気の確保」と「手洗いの



山脇議員の一般質問

藤田議員の一般質問

